

平成29年度屋外広告士試験

問 題 B

広告デザイン

試験時間：13:00～14:20（退出可能時間：13:50～14:10）

次の注意をよく読んでから始めてください。

1. これは試験問題Bです。表紙を除き11ページ20問あります。
2. 問題はすべて必須問題です。
3. 氏名・受験地はマークシート解答用紙に記入してください。
4. 受験番号はマークシート解答用紙に記入し、該当する番号欄を鉛筆で塗りつぶしてください。
5. 解答はマークシート解答用紙の番号欄を鉛筆で塗りつぶしてください。
6. 1問に2つ以上解答した場合は正解としません。
7. 解答を訂正する場合は、消しゴムでていねいに消して訂正してください。
8. マークシート解答用紙は退席の際に回収します。
9. この問題冊子は持ち帰っても構いません。

【問1】近年、企業や公共団体が支出する広告費に占める屋外広告物の割合が減少傾向にあると言われているが、このことに関連して屋外広告業をとりまく社会環境の変化を示す記述として、**適切でないもの**はどれか。

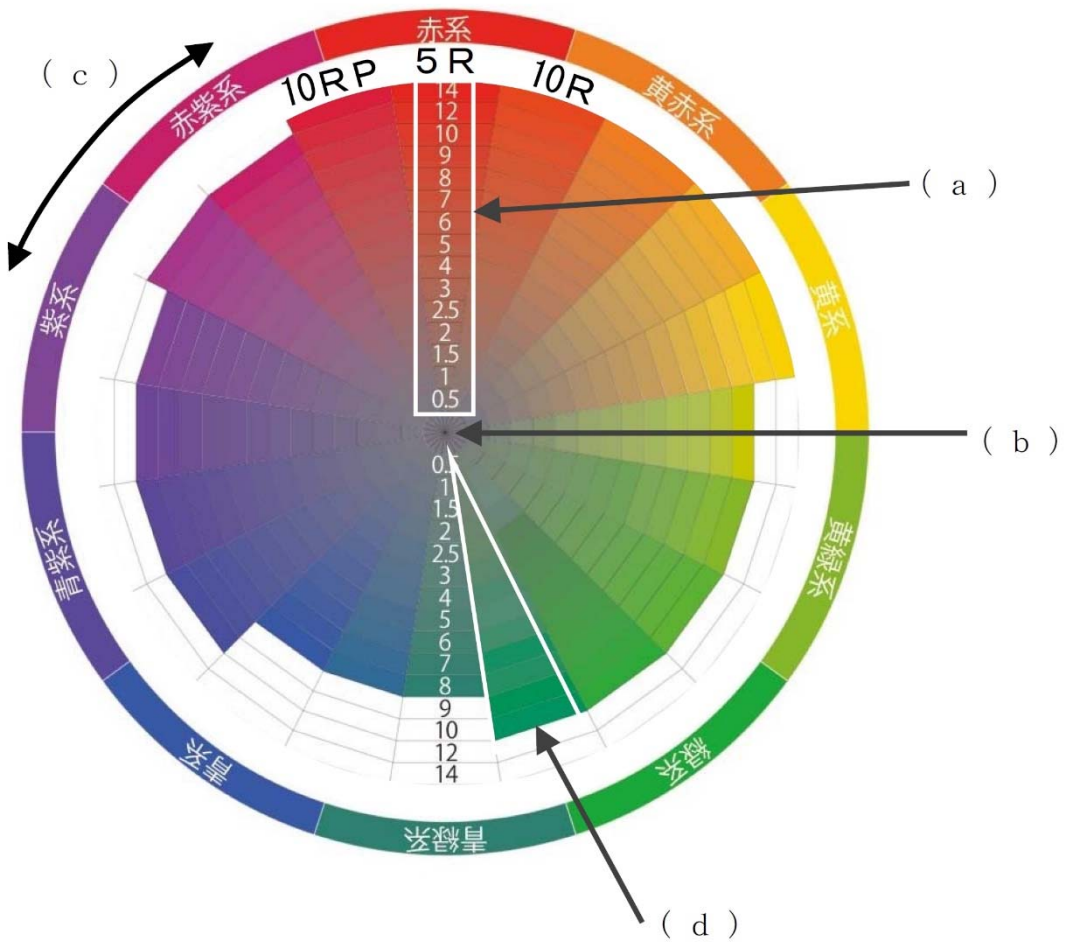
1. インターネットを利用した広告物は、特定の関心を有する個人に訴求する広告から不特定多数を対象とする広告へと、広告物の質の変化を促した。
2. 屋外広告物の総量が減少する一方において、掲出の効果を高めるために屋外広告物の局地的な集積がすすむ傾向にある。
3. 屋外広告物を含む多様なメディアの集約と体系化がすすんでおり、営業から企画、デザインを経て製作にいたるプロセスの分業化が顕著となっている。
4. 知的生産が中心となるソフトウェア重視の企業が多様なメディアをマネジメントする中で、ハードウェア重視の屋外広告業は大きな影響を受けている。

【問2】写真ののれんを説明する記述として、**適切でないもの**はどれか。



1. 布丈をそろえて間口いっぱいの軒先に張ったこののれんは、長のれんと呼ばれている。
2. のれんの目的は、間仕切りや日除けのためとされているが、屋号の表示が加わり広告物に位置づけされるようになった。
3. のれんは、日本独特の広告形式とされ、伝統の風情を高めるアイテムとして用いられている。
4. 小さなのれんが連続するリズムカルな意匠美に、たくし上げられた部分が加わり、美的効果をさらに高めている。

【問3】マンセル表色系を用いた図の（a）～（d）を説明した文として、**適切でないもの**はどれか。

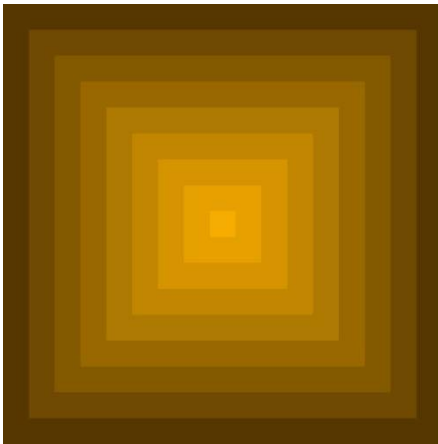


1. (a)が示す0.5～14の数値は、彩度を示している。
2. (b)が示す同心円状の色の並びの中心部分は、黒を示している。
3. (c)が示す同心円状の色の並びは、色相環を示している。
4. (d)が示す色相は、10Gを示している。

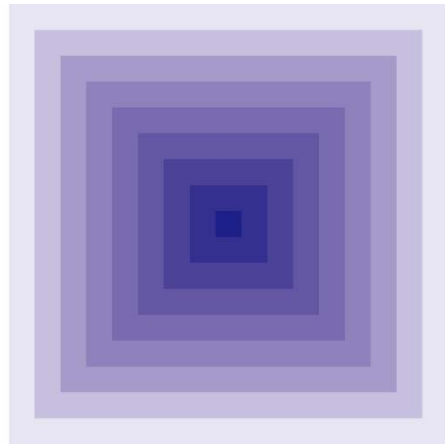
【問4】屋外広告物のデザインにおいて参照すべき色彩調和の原理とその説明の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

1. 秩序性の原理 ー 太陽光がつくりだす自然界の色の階調など、人にとって見慣れた配色をモデルとするもの。
2. 親近性の原理 ー たとえば色相などにおいて、類似性の要素が多い配色は調和するというもの。
3. 共通要素の原理 ー 表色系の色空間において、幾何学的な位置の関係にあるような色を用いた配色は調和するというもの。
4. 明瞭性の原理 ー 使用されている色の差にあいまいなところがなく、適度な変化をもっている配色は調和するというもの。

【問5】図の色の進出性と後退性に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。



図A



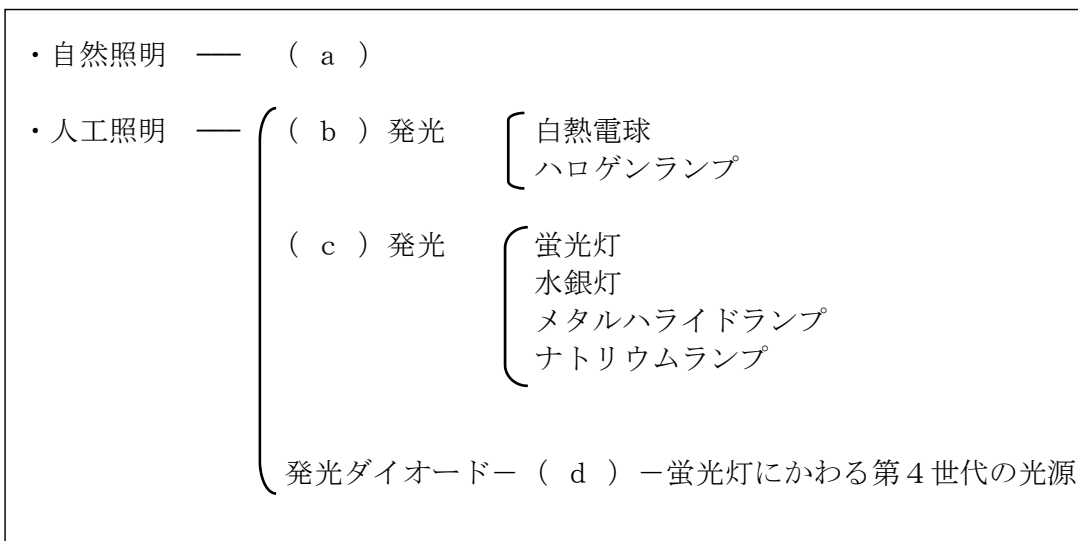
図B

1. 図Aの明度の高い橙色は進出色であり、中央部が近くにあるように見える。
2. 図Bは紫色の明度グラデーションにより、最も低明度の中央に向かうほど遠くに見える。
3. 暖色系、長波長、高彩度の色は後退色であり、寒色系、短波長、低彩度の色は進出色である。
4. 色の進出性、後退性は周りの色や背景の色との明度差により効果が高くなる。

【問6】人間が視覚を通じて明るさや色の感覚を獲得することのできる光の波長の範囲として、**正しいもの**はどれか。nmはナノメートルを示す。

1. 50nm ～ 180nm
2. 220nm ～ 360nm
3. 380nm ～ 780nm
4. 860nm ～ 1,200nm

【問7】照明光源の種類をまとめた下図の（a）～（d）に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。



- | | （ a ） | （ b ） | （ c ） | （ d ） |
|----|-------|-------|-------|--------|
| 1. | 太陽光 | 赤外線 | 紫外線 | LED |
| 2. | 火 | 赤外線 | 紫外線 | ELランプ |
| 3. | 火 | 熱放射 | 放電 | HIDランプ |
| 4. | 太陽光 | 熱放射 | 放電 | LED |

【問 8】屋外広告物の照明に関する記述の空欄に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

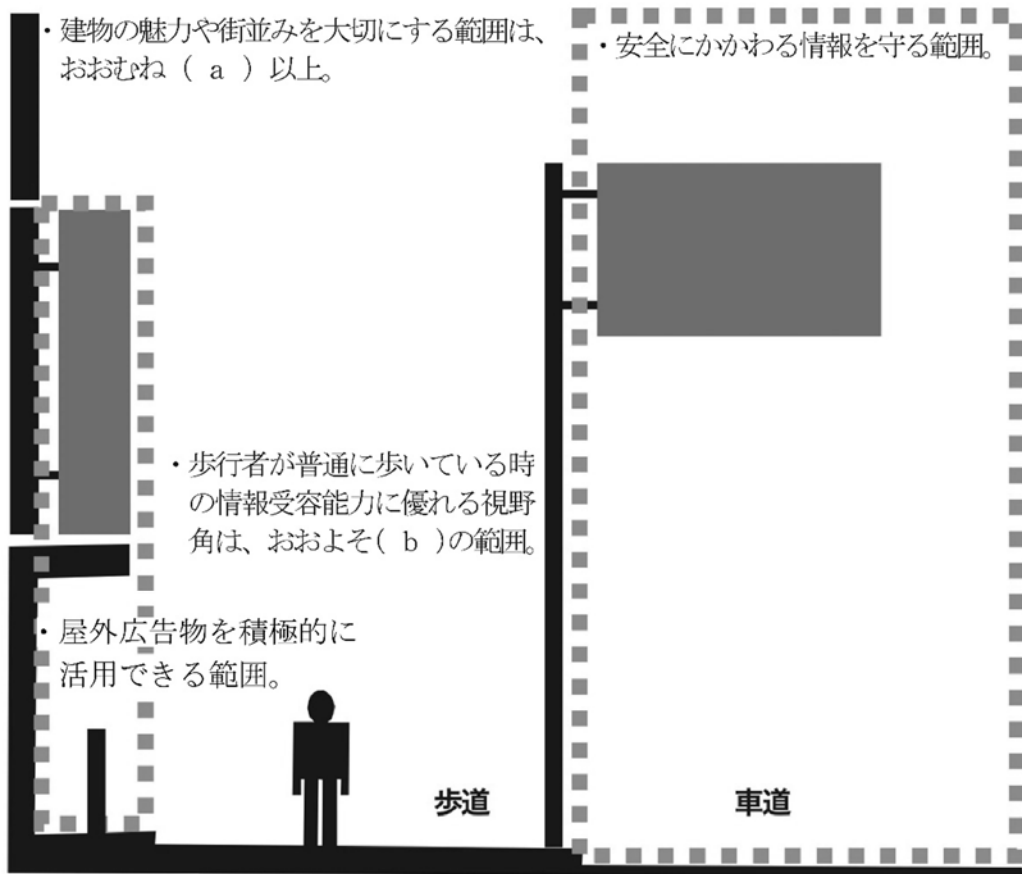
屋外広告物に設置される照明機器には、生活環境保全上の課題として（ a ）に対する適切な配慮が必要である。環境省「（ a ）対策ガイドライン」の屋外広告物に関する主な配慮項目としては、①広告物からの「漏れ光」、②光の性質（点滅、動き、投光照明の着色をしない）、③効率の良い光源や点灯時間の配慮による（ b ）等があげられている。（ c ）や移動式看板など広告目的で光を発するものについても同様である。

	（ a ）	（ b ）	（ c ）
1.	光害	省エネルギー	自動販売機
2.	ライトアップ	バリアフリー	非常口サイン
3.	ライトアップ	省エネルギー	非常口サイン
4.	光害	バリアフリー	自動販売機

【問 9】屋外広告物に表現される情報量と人による判読時間に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

1. 歩きながら様々なところを見ている人の目が 1 ヶ所に滞留する時間は、おおむね0.3秒程度である。
2. 自動車に乗って時速40km/h程度で走行している場合、人の目が 1 ヶ所に滞留する時間は、歩行の場合よりも長くなる。
3. 歩きながら様々なところを見ている人の目が 1 ヶ所に滞留し、その間に読むことができる文字数は、日本語で15字程度である。
4. 文字のレイアウトや色の使い方によって、判読できる文字量や判読時間にかかわらず、屋外広告物の訴求力を高めることができる。

【問10】街路上の情報の目的に応じた場の序列化を示す図の（ a ）、（ b ）に入る語の組み合わせとして、正しいものはどれか。



- | | (a) | (b) |
|----|-------|-------|
| 1. | 3階 | 水平60度 |
| 2. | 3階 | 水平20度 |
| 3. | 5階 | 水平20度 |
| 4. | 5階 | 水平60度 |

【問11】 広告情報の受け手としての高齢者に関する記述の空欄に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

日本では高齢化が進み、平成27年には総人口に占める65歳以上の高齢者の割合が（ a ）となった。情報の受け手としての高齢者への理解と配慮が不可欠である。高齢による目の衰えとしては、焦点が合う範囲が（ b ）なり、（ c ）を感じにくくなり、白内障により紗がかかったように見えるなどが挙げられる。

- | | （ a ） | （ b ） | （ c ） |
|----|-------|-------|-------|
| 1. | 約20% | 狭く | 温度 |
| 2. | 約20% | 遠く | 光 |
| 3. | 約27% | 遠く | 温度 |
| 4. | 約27% | 狭く | 光 |

【問12】 屋外広告物のひとつの 카테고리であるサインの主な種別に関する記述として、**適切なもの**はどれか。

1. 管理系サインは、物や場所につけられる名札のようなもので、記名サインとよばれることもある。
2. 識別系サインは、多くの場合は矢印を伴い、目的となる場所や施設等への順路を示すサインである。
3. 空間系サインは、地図的な案内を目的とするもので、街路図、路線図、施設平面図などが該当する。
4. 方向系サインは、危険を知らせたり、安全のために注意を促したり、禁止事項を知らせたりするサインである。

【問13】 文字の判読性に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

1. 太い文字を使用すると、カウンターが潰れて読みにくくなる傾向がある。
2. 細い文字を使用すると、地色に文字が融け込んで判読が不明確になる傾向がある。
3. 欧文書体でエックスハイトを大きくとると、読みにくくなる傾向がある。
4. 文字にセリフを付けて使用すると、複雑さが増して読みにくくなる傾向がある。

【問14】書体（ a ） 、 （ b ） 、 （ c ） の欧文書体分類の組合わせとして、正しいものはどれか。

（ a ） Bodoni ARaeg 123

（ b ） Frutiger ARaeg 123

（ c ） *Bickham ARaeg 123*

（ a ）	（ b ）	（ c ）
1. オールド・ローマン体	ゴシック体	スク립ト体
2. オールド・ローマン体	サン・セリフ体	イタリック体
3. モダン・ローマン体	ゴシック体	イタリック体
4. モダン・ローマン体	サン・セリフ体	スク립ト体

【問15】自然景観に調和する屋外広告物のデザインにおいて、どのような素材を用いるかはきわめて重要な検討事項のひとつである。このことに関する記述として、適切でないものはどれか。

1. 自然景観が豊かな場所では、できるかぎり自然素材を多く用いた屋外広告物とすることが奨励される。
2. 自然素材の中でも木質素材を用いた場合には、屋外広告物が構造的に大きなものになりやすい点に留意する必要がある。
3. 金属やプラスチック、ガラスなど、人工的な素材をわずかでも使用した屋外広告物の設置は厳に慎まなければならない。
4. 自然素材の中でも石材を用いた場合には、加工の方法が制限されるデメリットがあることを認識している必要がある。

【問16】写真はレトロな洋館が建ち並ぶ観光地のコンビニエンスストアを撮影したものである。この写真の屋外広告物と景観に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。



昼間の写真



夜間の写真

1. 店舗外観の基調色を白にまとめてレトロな街並みの統一感を高めている。
2. 広告物の白と黒の配色は、このコンビニエンスストア・チェーンのC Iとは異なるが、この地区の個性あるレトロな景観と調和している。
3. 主張性を抑えた広告物は、店舗の私的な利益よりも公共の利益を優先するようにデザインされている。
4. 白い内照式照明を、色温度の高いものに置き換えると、夜の街並みの表情をさらに落ち着かせることができる。

【問17】屋外広告景観のシミュレーションに関する記述の空欄に入る語の組合わせとして、**正しいもの**はどれか。

屋外広告物の景観シミュレーションを行う場合、最も重要な変数となる属性としては、屋外広告物の（ a ）、（ b ）、（ c ）がある。これらを組み合わせてシミュレーション画像を作成して評価する。また、シミュレーション画像を作成する視点の位置と距離、広告物の背景、夜間の照明装置なども重要な要素である。

	(a)	(b)	(c)
1.	素材	掲出位置	文字数
2.	素材	デザイン	色彩
3.	大きさ	デザイン	文字数
4.	大きさ	掲出位置	色彩

【問18】屋外広告物の製作にひろく用いられているシルク印刷の一般的な特性に関する記述として、**適切でないもの**はどれか。

1. シルク印刷は、アルミなどの型枠に貼ったメッシュ状のスクリーンの目をマスキングすることによって、インクが透過する部分としない部分をつくる方法である。
2. シルク印刷は、専用のインクを使用して直接版面に印刷を行うため、印刷することのできる素材が金属に限定される。
3. シルク印刷は、写真製版の技術を応用することによって写真や図柄をマスク処理できるので、きめ細かい表現も可能である。
4. シルク印刷は、製版に手間と時間がかかり、1点だけの製作や多数色を使う場合にはインクジェット印刷などと比較してもコストアップとなる。

【問19】次に示すサイン製作プロセスの項目とそのプロセスの中での作業内容の組合わせとして、**誤っているもの**はどれか。

- | (プロセスの項目) | (作業内容) |
|-----------------|---|
| 1. 調査・分析 | 対象となる計画地に出かけて人や車の流れである動線を把握し、周辺の状況確認や実測を行う。 |
| 2. 企画（コンセプトづくり） | 企業や設計者の理念を確認し、調査分析した資料を加えてサインデザインの方向性を示す。 |
| 3. プレゼンテーション | クライアントが計画内容を十分にイメージし、または膨らませるように具体的な絵を提供する。 |
| 4. 各種申請手続き | 画面製作はコンピュータ化が進んでおり、使用するソフトおよび保存形式の届出を忘れず行う。 |

【問20】屋外広告物に求められるトータルな経済性に深く関わる事項として、**適切でないもの**はどれか。

1. 印刷寸法や素材の適性
2. 製作時におけるローコスト性
3. 掲出場所と構造の適合性
4. 製作、設置から維持管理、除却までを含むライフサイクルコスト